

2024年度 公開講座 量子技術を活用した光機能材料

主催：名古屋市量子産業創出寄附研究部門
(名古屋大学 未来社会創造機構)



Q-NC

名古屋市量子産業創出寄附研究部門
Division of Quantum Research for Industry Development,
Nagoya City-Endowed

名古屋市量子産業創出寄附研究部門では
名古屋圏の企業と名古屋大学発の量子技術との融合により
地域の産業の活性化と持続的な発展に取り組んでいます
互いのニーズの理解と新たなビジネス創出や課題解決を目指した
セミナーを開催します

令和7年

日時

3月12日(水)

13:30 から 15:10

(13:15 開場)

会場参加の方限定で
ノベルティプレゼント



会場

①【対面】

名古屋大学

ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー 3階

ディープテック・シリアルイノベーションセンター ホール

②【オンライン】

URL は申込みされた方にお送りします

参加無料

(事前申込制)

会場参加 50名

対象 名古屋市およびその周辺の企業

- ・大学の技術を活用して産業創出の取組みをされたい事業者の方
- ・大学の計測・解析装置活用にご興味のある事業者の方 など

東海国立大学機構 名古屋大学 未来社会創造機構

名古屋市量子産業創出寄附研究部門

TEL : 052-558-9755

E-mail : qnc_info@mirai.nagoya-u.ac.jp

主催



Q-NC

名古屋市量子産業創出寄附研究部門
Division of Quantum Research for Industry Development,
Nagoya City-Endowed

共催



量子フロンティア産業創出拠点
Quantum-Based Frontier Research Hub
for Industry Development

Q-BReD

お問合せ

プログラム

▶ 第一部 量子技術に基づいた機能材料創出

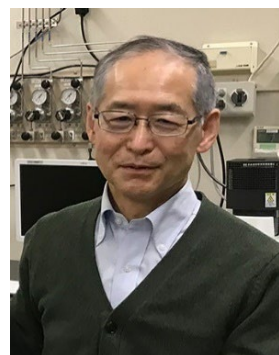
13:40 - 14:30

講師

東海国立大学機構 名古屋大学 未来社会創造機構
名古屋市量子産業創出寄附研究部門 特任教授

名古屋大学 名誉教授
日本化学連合 会長

関 隆広



【講演の概要】講演者は長年、光に応答する高分子システムを研究してきました。光は分子の向きを偏光で制御でき、その特性を活用した光配向技術は液晶ディスプレイ製造に利用されています。本講演でその仕組みと可能性を解説します。

▶ 第二部 マイクロ流体デバイスとナノ量子センサーを 基盤とするバイオ分析技術の開発

14:40 - 15:10

講師

量子科学技術研究開発機構 (QST)
量子生命科学研究所 主任研究員

嶋田 泰佑



【講演の概要】これまでに開発したマイクロ流体デバイスを基盤とするバイオ分析技術について紹介します。さらに、当該デバイスとナノ量子センサーを融合応用したバイオ分析技術の可能性についても解説します。

会場のご案内

名古屋大学

ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー 3階
ディープテック・シリアルイノベーション
センター ホール

〒464-0814

愛知県名古屋市千種区不老町 B2-4

名古屋大学駅 3 番出口から徒歩 3 分



こちらからお申込みください

<https://forms.office.com/r/7XUrt4yLv5>



主催



Q-NC

名古屋大学量子産業創出寄附研究部門
Division of Quantum Research for Industry Development,
Nagoya City Endowed

共催



量子フロンティア産業創出拠点
Quantum-Based Frontier Research Hub
for Industry Development